

第5回 八重山オニヒトデ対策協議会 議事概要

作成 環境省石垣自然保護官事務所

■日時：2011年5月10日(火) 18:00～19:00

■場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター レクチャー室

■参加者

與儀(八重山漁協・八重山オニヒトデ対策協議会会長)、金城(石垣市農林水産部水産課)、野底(石垣市環境課)、下地(石垣市環境課)、白保(竹富町自然環境課)、嵩原(竹富町自然環境課)、玉城(沖縄県自然保護課)佐藤 大樹(環境省石垣自然保護官事務所)、比屋根(環境省石垣自然保護官事務所)、伊良部(八重山漁協)、増田(八重山漁協)、園田(八重山ダイビング協会)、佐伯(八重山ダイビング協会)、屋良部(石垣島マリンレジャー協同組合)、富岡(石垣島マリンレジャー協同組合)、萩原(石垣島マリンレジャー協同組合)、竹内(竹富町ダイビング組合)、遠藤(八重山コーラルリーフセイバーズ)、十河(八重山コーラルリーフセイバーズ)、森((有)海游)、矢谷((有)ぶしいぬしま)、岡地((有)コーラルクエスト)、以上22名
(報道機関)八重山日報、沖縄タイムス、琉球新報、石垣ケーブルテレビ

■議事概要：

2. 議題

1)平成22年度のオニヒトデ駆除事業結果及び平成23年度のオニヒトデ駆除事業について

1)平成22年度事業について

平成22年度のオニヒトデ駆除事業の結果報告と23年度の駆除事業について説明を環境省、沖縄県自然保護課、石垣市水産課から行った。

22年度は第四回オニヒトデ対策協議会の議論を踏まえ、環境省の事業はユイサーグチと黒島東で、沖縄県自然保護課の事業では石垣側は御神崎、西表側は鳩間島・パラス周辺で、石垣市水産課の事業では、カナラグチ、ユイサーグチ、ケングチ、インダビシ、鳩間西で駆除を実施したことを報告した。

また環境省が実施する八重山海域周辺でのサンゴやオニヒトデの分布に関する調査結果も報告され、22年度以前ではオニヒトデが確認されなかった石西礁湖北礁、米原プカピー(ダブルリーフ)で、22年度後半からオニヒトデが確認され始めたことが報告された。また八重山ダイビング協会からもダブルリーフでオニヒトデの数の確認が増えたので22年度後半より駆除を開始している旨、報告された。

2)平成23年度事業について

今回は、単年度事業として、石垣市環境課が行う重点分野雇用創出事業によるオニヒトデ駆除サンゴ保全事業も加わり、平成23年度は4関係部署による駆除が行われることとなっ

た。

これまでのオニヒトデ対策協議会で議論されてきた対象海域に加え、昨年度後半から米原Wリーフ、御神崎でオニヒトデの大発生、サンゴの状態が比較的良好な石西礁湖北側礁縁部（北礁）にもオニヒトデが確認されていることを加味し、23年度の駆除対策海域を決めた。具体的な駆除場所は、環境省事業では継続事業地のユイサーグチと黒島東に加え石西礁湖北礁（冬期の駆除も可能な竹富島北付近を想定）、沖縄県自然保護課事業では西表側はバラス、鳩間周辺、石垣では米原Wリーフを集中して駆除を実施し、石垣市水産課は漁協が禁漁区に設定している産卵場所（カナラグチ、ユイサーグチ、ケングチ、インダビシ）に加え、オニヒトデが増えているヨナラ水道を加えて事業を実施するという方針を確認した。石垣市環境課の事業では、石西礁湖北礁や石垣周辺で分布調査を実施すること、他機関が行っている場所において、石西礁湖北礁を中心に駆除すると共に、他の場所で駆除努力量が不足した際には各機関と協力し駆除を進めることを確認した。

2)その他、情報交換等

○八重山コーラルリーフセイバーズの遠藤氏から、これまで鳩間島周辺海域で行ってきたオニヒトデ駆除について報告があった。オニヒトデの発生状況も2009年あたりからエリアを決めて継続して駆除をおこなっており、決められたエリア内では、サンゴは守られているとの報告がなされた。

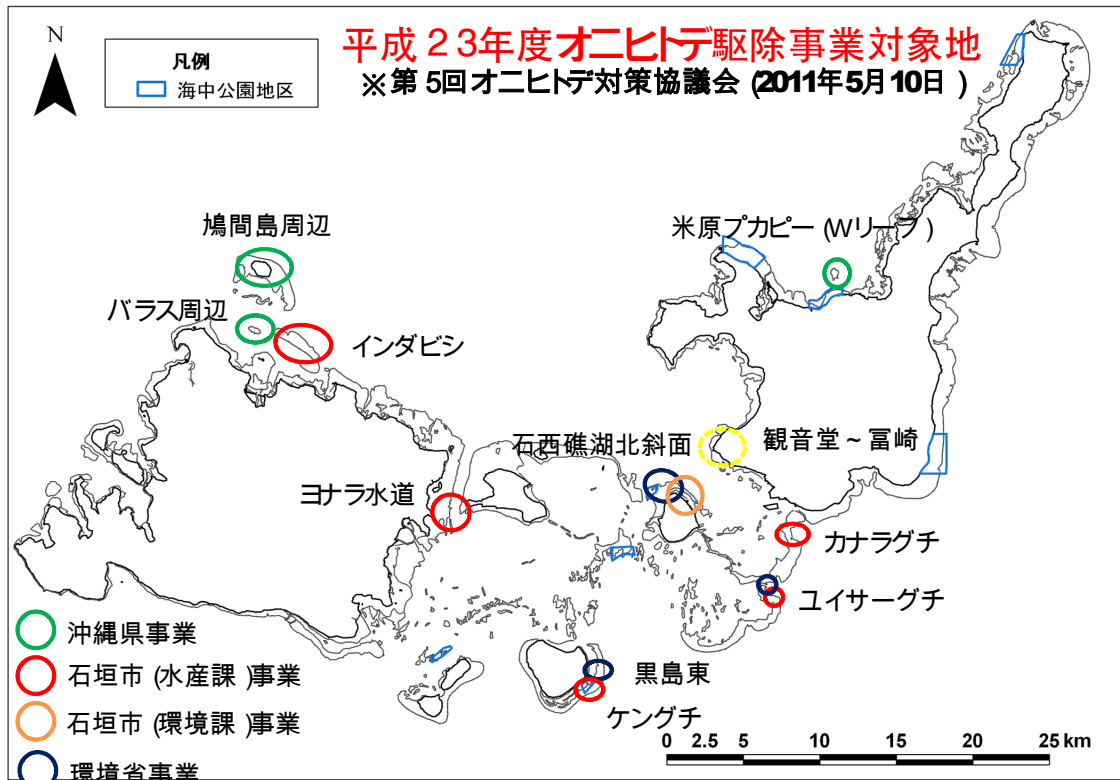
○八重山ダイビング協会の佐伯氏からダイビング協会川平支部を中心に実施してきたナイトダイブによるダブルリーフの駆除の状況について、昨年の夏頃は、オニヒトデのサイズは小さい物が多かったが、11、12月あたりからサイズも大きくなったことが報告された。ダブルリーフでは八重山ダイビング協会でも引きつづき駆除に力を入れていることが報告された。

○米原のビーチ近くでもオニヒトデが多く見られボランティアによる駆除を実施したこと、夏季にかけ、観光客が増加していくことから、リーフの中にも注意が必要ではないかと思意見が出た。今後ビーチ内でもオニヒトデが確認された時は情報を事務局まで寄せて欲しい旨、周知した。なおオニヒトデがリーフに入ってきて危険な際は、事務局まで情報提供頂いた上で海岸管理を行なっている沖縄県土木事務所が行っているので情報提供をし対応を相談する。

○オニヒトデの処分について、石垣自然保護官事務所の佐藤から説明。

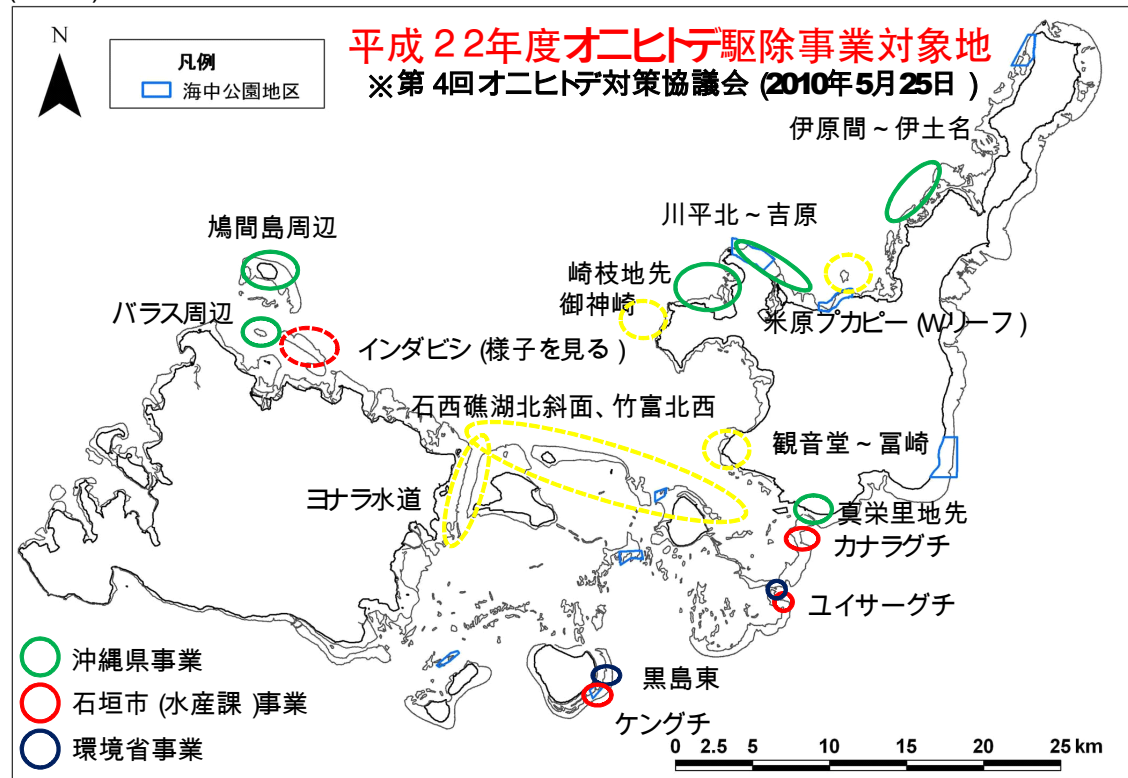
①堆肥センター：オニヒトデの受入に協力的。搬入は16時まで、搬入時間を事前連絡（0980-88-8586）する。搬入量の制限はないが、計量のため、事務所をってから持ち込んでほしいとのこと。日曜日は閉館する。

②クリーンセンター：事前に石垣市環境課を通して市への利用申請が必要。オニヒトデ搬入量の制限が有り200kg/日まで。持込む際は事前連絡（0980-88-6100）すること。受入は16時までで、土・日曜日は閉館。受入料金が発生し10kgにつき20円。



○ 平成 23年 5月現在、サンゴが高被度でオニヒトデが少ない海域、かつ「守るべき」守りたい」条件を満たす海域。巡視をして、オニヒトデが増えた場合は駆除事業対象地にする事も考える

(参考)



○ 平成 22年 5月現在、サンゴが高被度でオニヒトデが少ない海域、かつ「守るべき」守りたい」条件を満たす海域。巡視をして、オニヒトデが増えた場合は駆除事業対象地にする事も考える